

会 報

次代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会

＜第383号＞



発行日:平成29年 9月 1日

| | | | |
|----|------------------|---|----------|
| 目次 | ◎ ご挨拶 | 副会長 大木 弘恵 | ・・・1～3頁 |
| | ◎ 寄稿 | 神戸秘話『デザイン都市の象徴を手がけた偉大な建築家 置塩 章』 会 長 瀬戸本 淳 | ・・・4～5頁 |
| | ◎ 会員レポート | 鉄道秘話④『ひょうごのナニコレ珍百景 泡沫に消えた島の中の鉄路 その1』 (株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏 | ・・・5～6頁 |
| | ◎ 花だより | 『花だより&小観光 神戸市北区淡河町界限』 | ・・・7～8頁 |
| | ◎ お知らせ、広報コーナー | | ・・・9～11頁 |
| | ◎ 特別編(別冊) 健康管理特集 | | |
| | I | 第458回月例会報告 健康マイプラン実践講座『有機農業の可能性—食べ物の価値』 講師 保田 茂氏 (NPO法人兵庫農業村研究所 理事長) | |
| | II | 健康ひょうご21県民運動フォーラム報告 講師 辨野 義己氏 (特定国立研究開発法人理化学研究所) | |

ご 挨拶
副会長 大木 弘恵
(株)大木工務店 代表取締役社長

平成29年度も早くも後半へと時の節を迎えるにあたりましてご挨拶をさせていただきます。

年々厳しさを増す夏の暑さとこの時期の残暑に負けることなく、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年、建築会創立70周年を迎える年に副会長を拝命しました。新米副会長として、いささか不安を感じた次第ですが、精進させていただこうと承りました。

早速その7月から、会長・副会長会や事業推進委員会などを通じて、実施事業について審議をしてきましたが、記念講演、記念式典、記念誌と主要な事業の展開について、事務局から示される手際を確認させていただくことに終始することになりました。どれ一つとっても大変重大な事業でしたが、全てが成功裏に執り行われましたことに感嘆

をいたしました。

何よりも、これら事業を執り行うに当たりまして、支えていただきました皆さまのご協力に改めて感謝申し上げます。建築会の更なる発展に必要な夢や希望が広がる事業内容となりました。

また、月例会につきましても、同様に審議していきますが、予算の厳しい中であって、工夫してそうそうとした講師を取り揃える苦勞が身に染みて理解できました。それだけに、私自身が毎回の講演を楽しみにしてお聴きしていますが、期待を裏切らない内容に、安堵感とともにいい勉強をさせてもらっています。折角の機会でございますので、是非ご参加をいただきますようお願いを申し上げます。

さて、近年の私達を取り巻く環境は、国内景気の回復などにより、V字的な改善が図られてまいりましたが、その一方で大変危惧されるのが人口問題でございます。生産年齢人口は60.3%で、ピークの1992年の69.8%から大幅に減っていることが最も気がかりな数値と思います。

私達の業界におけます人手不足は慢性化しつつありますが、このことへの対策は喫緊の課題と承

知はしながら、なかなか成果が出てこないもどかしさがあります。若い人たちにとって魅力ある職場環境づくりに共に知恵を出し合っていきたいと思います。

ところで、建築会と同じくして大木工務店にありましても、この度創立70年を迎え、先ごろその記念の祝をいたしました。

先代の大木基弘が、兵庫県を退職して昭和22年に神戸市生田区で創業し、建築一筋に社会貢献を理念に社業の進展に取り組んでまいりました。お陰様で数々の不景気にも遭遇しましたが、今日まで事業を続けてこられたのは御縁を頂いた皆様のお蔭と心から感謝致しております。

それと、この会報に発表されています瀬戸本会長の神戸秘話におきまして、当会の第三代会長置塩章様の紹介がされています。その中に置塩様の作品の一つ国立生糸検査所（現K I I T O）が紹介されていますが、奇しくも先ごろその改修を大木工務店が施工させていただきました。

永年神戸の経済の中核でもあった「生糸検査所」の改修という大変名誉ある事業でございますので、その事業の概要を紹介し置塩様の偉業を讃えさせていただきます。



置塩氏設計の新館：改修前↑

改修後 蘇った往年の煉瓦の輝き↓



○ 改修概要

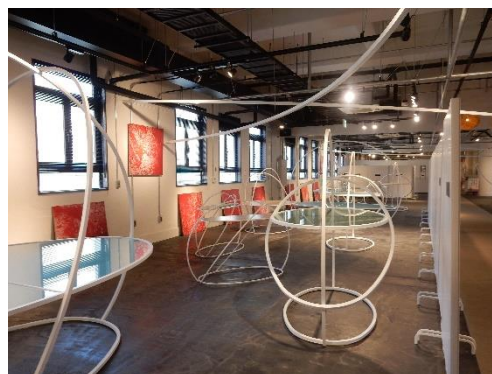
- 工事名 (仮称) デザイン・クリエイティブセンターK O B E 整備工事
- 工事期間 平成23年4月1日
～平成24年3月30日
- 工事概要
- 1 構造耐震補強工事
 - 2 外部建具改修工事・外壁改修工事・防水改修工事一式
 - 3 内装改修工事一式
 - 4 液状化対策工事
 - 5 外構整備工事
 - 6 植栽整備工事

○ 建物概要

1927年に輸出生糸の品質検査を行う施設として、ゴシック様式を基調とした神戸市立生糸検査所（旧館）が建設されました。1931年に国に移管し、1932年には国立生糸検査所（新館、置塩章氏設計）が東に建て増しされ、神戸港の生糸の輸出は、大正から昭和初期にかけて最盛期を迎えます。

近代日本の産業や文化を輸出するための重要な拠点だった生糸検査所は、その後役割を終えましたが、この度の改修により、一時代を築いた街や文化を継承し、新しい価値を生み出す創造の場に生まれ変わりました。

神戸市の中心部三宮の海側に位置する地上4階建ての建物内ではデザインやアートにまつわるゼミ、レクチャー、展示、イベントを開催するほか、貸ホール、貸ギャラリー、貸会議室、クリエイティブラボスペースなどがあります。



2階 実験的活用スペース

○ 工事概要説明

歴史的建造物であり、経年の劣化に加え、震災によるダメージが殊の外大きく、厳しい施工となりましたが、その対応等について報告します。

1 耐震補強工事

旧館・新館共に築年数が80年、85年（改修施工当時）と古いため、既存コンクリートが泥弱化しており、後施工ケミカルアンカーの定着性の問題、

地下室内の図面と異なる基礎梁問題等、通常有りえない状況に直面し、耐震補強方法の転換を行う等の対策に迫られました。

特に意を配したのは、既存建物の風合いを残しつつ耐震補強部分を目立たないようにする事でした。

2 外部建具改修工事・外壁改修工事

新館では、東西方向に約350mm建物が傾斜しており、この対応のため、全面取替の外表面サッシを、既存外壁タイルとの関係上サッシ1枚ずつに約10mm高さ調整（ずらし）を行い建物傾斜に対応をしました。

新館の外壁改修においては、サッシ取替に伴う外装タイルの取替について、原状に合わせて見本焼きを何度も繰り返し、現況タイルに少しでも近づけるようタイルメーカーと交渉し、タイルの含水量を増やし櫛目をはっきりと出し、既存との違和感を解消しました。（メーカーはこれ以上含水量を上げると割れやそりが出るためできませんとの見解でしたが。）

3 内装改修工事

内装改修工事においては、旧館、新館共に原状の風合いを変えずに排煙シャッターや防火戸を取付け、取付けした部材によって空間に変化をもたらさないようにし、塗装等についても必要以上に手を加えず行うことに苦心しました。

4 液状化対策工事

新館内部の既存縁甲板の薬液注入に先立ち、全面的に一時撤去した後、パーカッションドリルにて削孔を全330カ所行い、約15m地中まで薬液を注入することで、震災時に多くみられた液状化としない対策を約2か月間24時間体制で実施。その注入工事の間は、建物に相対変異が見られないかの測定もトータルステーション計測機にて実施しました。

液状化対策工事完了後は、一時撤去した既存の縁甲板にて復旧作業を行い、施工前の状況に極力、近づけるべく作業しました。

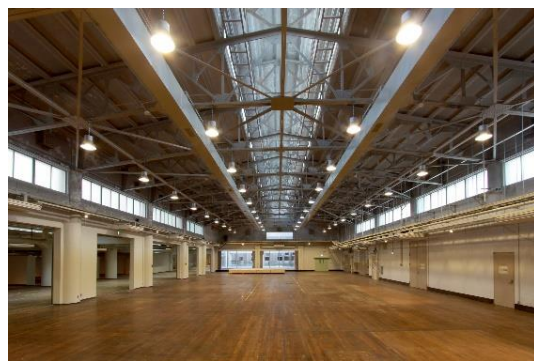
5 BELCA賞の受賞

さる平成29年5月22日、この度の改修工事の施工に伴い、公益社団法人ロングライフビル推進協会から「飛躍的な価値向上をもたらすリフォームがなされた模範的建築物である」と評価を受け、BELCA賞ベストリフォーム部門に選定されました。

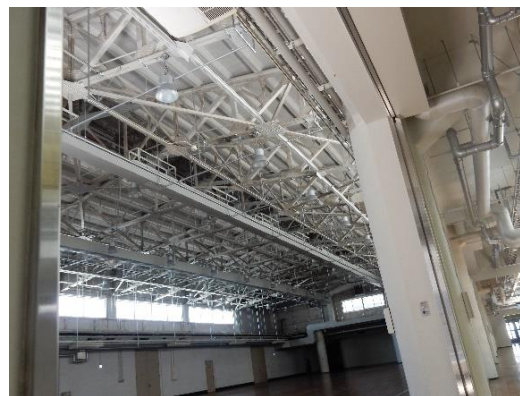
この賞のことも含め、貴重な財産である「生糸検査所」から「KIITO」へと、昔の趣を残しつつ新たな使命が与えられた建物へと転換する場に関わったことに大変名誉を感じています。



旧館 改修後



新館 1階大ホール改修



新館 1階大ホール 配管のやり替、塗装改修工事



新館 1階展示スペース 全面的床部分液状化対策コンクリート壁増設、柱補強、床・壁・天井改修工事

寄稿
神戸秘話「デザイン都市の象徴を手がけた
偉大な建築家 置塩 章」
(一社)兵庫県建築会会長 瀬戸本 淳

半年も連載を続けると、ありがたいことに読者からさまざまな反響をいただくが、「建築関係の人物を紹介して欲しい」という声が少ないので、今回はそれに応えよう。

私は兵庫県建築会の9代目の会長を仰せつかっている。歴代会長には偉大な人物の名が連なり恐縮しているが、中でも3代目の置塩章先生はもっと評価されてしかるべき建築家だ。

置塩先生は、明治14年(1881)に静岡県島田市の生まれで、明治39年(1906)に東京帝国大学造家学科に入学。後に竹腰健造とともに日建設計の基になった長谷部竹腰事務所を創設した建築科、長谷部栄吉と同期で、友情は生涯続いたという。

卒業後は技師として陸軍省に入省。大阪市の第四師団に配属され管轄下の営繕事業を手がけ、旧大阪砲兵工廠化学分析場(現存)などの設計を担当した。

そして、大正9年(1920)、都市計画法施行に伴う技師増強のため兵庫県庁へ移籍し、営繕課長などを務めた。兵庫県会議事堂や旧尼崎警察署など公共建築を多く手がけただけでなく、今なお公文書などで使われている兵庫県の徽章は大正10年(1921)に置塩先生がデザインしたものだ。

昭和3年(1928)に兵庫県を辞し独立、置塩章建築事務所を開設。国立移民収容所(海外移住と文化の交流センター)、兵庫県信用組合連合会事務所(駐神戸大韓民国総領事館)、旧加古川市公会堂(加古川市立加古川図書館)など今なお親しまれている名建築を県内各地に残している。現在、「デザイン都市・神戸」のシンボルになっている国立生糸検査所(現・K I I T O)は代表作だ。県内のみならず、茨城県庁舎や宮崎県庁舎、鳥取県立図書館など全国からの設計依頼にも応えている。ネオゴシック様式の大規模建築を得意としたが、住宅にも手腕を発揮。県立病院院長の小川瑛五郎の依頼を受け、阪神間モダニズム華やかかなりし昭和5年(1930)に御影に洒落な洋館を設計している。ちなみに置塩先生は自らも御影に住まいを構えた。

設計だけでなく建築家の育成にも尽力、神戸高等工業学校(現在の神戸大学建築学科)でも教鞭を執っていた。置塩先生は優秀な教え子であった中川文雄さんを自らの事務所に招聘、中川さんは期待に応え置塩先生の片腕として活躍、やがて兵庫建築士会の会長まで務めた。仕事上の2人は仲

が良い最高のコンビだったという。

私が若かりし頃、置塩章建築事務所は神戸で一番大きな設計事務所だった。実は中川文雄さんの息子の中川進君と私は高校時代からの友人で、お宅にもよく遊びに行った。私が置塩章建築事務所に入れて欲しいとお願いに上がった時、ちょうど置塩先生が亡くなられたばかりの頃で、今思うと事務所は大変な時期だったのだろう。中川文雄さんは安井事務所を紹介してくれた。私はそこで8年キャリアを積むことができ、人生が大きく変わったのだ。

さて、置塩先生は歴史に造詣が深く、歴史的発見にも深くかかわっている。その話は次回に。

※敬称略

※「阪神間モダニズム」展実行委員会編著『阪神間モダニズム』、近代建築青空ミュージアムブログなどを参考にしました。

《月間神戸っ子7月号より転載》



置塩 章(おしお あきら)
建築家

明治14年、静岡県生まれ。明治43年に東京帝国大学工科大学造家学科(建築学科)を卒業、陸軍技師として陸軍省に入る。大阪砲兵工廠の勤務を経て、大正9年に兵庫県庁に移り、兵庫県徽章のデザインを行った他、県会議事堂、警察署、学校など多くの施設の設計を指導。昭和3年に兵庫県庁を退職後、置塩章建築事務所を開設。神戸高等工業学校(現・神戸大学建築学科)の講師も務めた。兵庫県建築士会の初代会長、兵庫県建築会会長、日本建築士連合会理事などを歴任し、昭和33年に藍綬褒章を受章。



旧兵庫県会議事堂(兵庫県議会提供)



旧国立移民収容所：
現 海外移住と文化
の交流センター



旧兵庫県信用組合連合会事務所
：現 駐神戸大韓民国総領事館



旧加古川市公会堂：
現 加古川図書館

(注) 現建築写真は事務局が撮影しました。

会員レポート

鉄道秘話④「ひょうごのナニコレ珍百景 ・泡沫に消えた島の中の鉄路」その1 （株岡工務店 専務取締役 岡 澄彦

今月は、お待ちかねの淡路鉄道。
その鉄道があったことを示す古い路線図。



南海電鉄掲示の淡路鉄道路線図：
左上の薄い赤線が洲本～福良間。
右の赤線は岬公園～和歌山路線。

や
ってきたのは、南海電鉄汐見橋駅。同高野線の起
点である。大阪ミナミの中心からやや外れたと
ころに位置するが、昭和に取り残されたような佇ま
いの駅ではある。

今回紹介したいのは兵庫県の淡路鉄道。なぜに、
大阪の南海なのか。駅に残された当時モノの路線
図をご覧いただきたい。さも南海の支線の扱いの
ごとく和歌山市と海峡で隔てられた淡路島の洲本
～福良間が赤い実線で示されている。このような
当時の生き証人である路線図だが、2016年3月廃
棄処分された。価値のわからない人にはごみでし
かないが、何ともったいないことをしてくれたも
のだ。

同じ航路でも岩屋から明石を経て神戸に遊びに
行くよりは、洲本から和歌山に渡り、そこから南
海に乗って難波に出た方がまだ便利であったと、
淡路鉄道の利用者は往時を懐かしむ。

淡路島に鉄道を敷設しようという計画は、明治
時代から存在し、1911年（明治44年）には賀集新
九郎ら地元の資産家ら25名によって洲本～福良
間の敷設免許が国に申請された。翌年免許され、
1914年（大正3年）に淡路鉄道として資本金45万
円で設立された。しかし資金難や第一次世界大戦
時の物価上昇などで工事は遅れ、政府の補助金な
どの援助もあってようやく当初予定の区間（洲本
口～市村の間16km）を開業させたのが1922年（大
正11年）11月22日で乗客と貨物を扱う淡路島初

蒸気機関車による鉄道運行が開始され、全通したのは1925年（大正14年）であった。1924年当時の運行状況は洲本口始発午前6時、最終便午後11時6分1日10便、洲本口～賀集間を1時間5分で結んでいた。1931年（昭和6年）からはガソリン気動車による運行に代わった。

1942年（昭和17年）淡路交通と改称する。路線は淡路島を東西に横断する形で敷設された。日本の北海道・本州・九州・四国の主要な四島をのぞいた島における通常の粘着走行方式による鉄道路線は、（四島から直通するものをのぞいて）第二次世界大戦後はこの淡路島のみであった。余談になる沖縄本島に路面電車（沖縄電気軌道）が島民の足として存在していたのだから、淡路島に電車が走っていたのは特別珍しいことではない。



戦後は、1947年（昭和22年）には電化工事が始まり、翌1948年（昭和23年）に電化が完成して南海電鉄から譲受した電車（木造車の鋼体化改造）の運行を開始した。主力は南海出身の車両だが阪神から来た車両も存在した。1952年（昭和27年）には、前年の国衙踏切での事故を受け踏切の自動化を、さらに同年には閉塞装置の自動化をそれぞれ成し遂げ、列車本数の倍増、木造車の鋼体化、ドアエンジンの採用、さらには最新の駆動装備の試験的導入などの施策がとられた。冒頭に示した南海電鉄との蜜月な関係はこうした背景にある。しかも車体色まで、同和歌山市内線に準じた色であった。線形はカーブも多く、電気の流れやブレーキのかかり方、速度の調整などに細心の注意を払って運転していた。乗客が『降りて押そうか』と話していたという広田駅から長田駅へと向かう坂道は、乗客の人数や電圧の関係で上りにくいことも

あり、ひやひやしたという。運転には神経をとがらせたが、優美な形をした先山など、車窓からの風景は壮観であった。通学に利用していた学生らが、客席と仕切られている運転席に入ってきて、「よく見えるなあ」と外を眺めていたことも、廃線から50年経った今では語り草だ。

徳島で阿波おどりがあつた時は、臨時列車を走らせて鳴門から船で戻ってくる島民らを迎えた。



自凝島。この駅名は何と読むのか。地の人ならお分かりだろう。「おのころじま」である。日本で最初に作られた陸地と伝え聞く。天地創造の昔、伊弉諾尊（いざなぎ）・伊弉册尊（いざなみ）の二神が天上の「天の浮橋」に立って、「天のぬ矛」をもって青海原をかきまわし、矛の先から滴り落ちた潮が固まって初めて出来たと伝えられる。よって淡路島は日本で最初に出来たところ。日本の中心ということになる。実際に、淡路鉄道の沿線は肥沃な田園が広がり、広大な家があり、島という感じは微塵もない。海に沿って走っていたわけではないので、島の鉄道というよりむしろ由緒ある土地を走っていたと考えると なにか 風雅な感じもある。

島民の足として親しまれた淡路鉄道であったが、押し寄せるモーターレーゼーションの波は同鉄道の終焉を迎えることとなった。次回に続く。



交通の要衝として賑わう当時の洲本駅前

花だより&神戸市北区淡河町界限
石峯寺の百日紅、淡河本陣跡

今回は神戸市北区淡河町地区の探訪です。

○ 石峯寺

場所は、例によって西桂著「兵庫の庭園97選」を繰って、石峯寺とその塔頭竹林寺、十輪院を選定しました。加えて、この時期の花だより「百日紅・さるすべり」の名木があることからでした。

淡河の中心から東北の淡河町神影にあります、その筋の方には「有馬ロイヤルゴルフ場」への進入路を辿り、その少し手前と言った方が分かりよいでしょう。



仁王門への参道

「石峯寺」(山号 がんれいさん 岩嶺山) は、この仁王門をくぐり(車は迂回)なだらかな坂道を一直線に上ったところにあります。

寺伝では、651年孝徳天皇勅願により「伝道」の開山とされ、747年行基が薬師寺を建立し、823年嵯峨天皇勅願により三重塔が建立されたとあります。(ウィキペディア)



石峯寺

本堂の前庭には、こうべ花の名所50選の『神戸の名木 さるすべり』があり、この時季、鮮やかながら暑さを一層際立たせる濃いピンクの花弁が境内を覆っています。



本堂と神戸名木さるすべり

本堂の手前右には重要文化財の薬師堂が、更に奥へ少し上がったところに、これも重要文化財の三重塔があります。この塔は、一層目が高く大きく造作され、二、三層目は比較的低く小さく作られ、安定感ができるように工夫しているとのこと。また、周囲はモミジの木々に覆われ、秋の紅葉の見事さを約束してくれています。是非秋にも訪れたいですね。



重要文化財 薬師寺



重要文化財
三重塔



石峯寺は、室町時代には七十二坊の支院を有していたとのことで、仁王門からの参道の両脇にはずらりと寺院が並んでいたものと思われます。現在は十輪院と竹林寺の二院のみが残存しています。

しかしながら、当日のもう一つのお目当てである神戸市指定名勝江戸時代初期の池泉鑑賞式庭園を有する「十輪院」ですが、進入防止の柵が張られ、どうやらお寺は休業(?)のようで、本にある周辺の山を借景にした庭園は鑑賞できませんでした。これで、前回に続いて庭園鑑賞は2連敗。もう少し慎重な事前調査が必要なようです。

竹林寺は健在ながら、非公開とも聞いていたもので、垣根越しに眺めさせていただきました。



仁王門から石峯寺への参道：左手前が十輪院、その上が竹林寺



竹林寺：茅葺の大屋根が立派

やぶ蚊に襲われながらで、ゆっくり鑑賞ができませんでしたが、他にも県指定文化財の石造五輪塔、鐘楼等見どころが結構あります。

この時期防虫スプレーの持参が賢明なようです。

○ 淡河宿本陣跡

淡河町は、豊臣秀吉が命じて播磨と有馬温泉を結ぶ宿場町として整備された。宿場町の建設に尽力した大庄屋・村上家が居住していたという。約600㎡の敷地に書院造りの母屋、茶室などがある。約50年前から無人で老朽化が進んでいた。地域の有志が「一般財団法人淡河宿本陣跡保存会」を結成し、修繕を決めた。

改修工事を終え、5月18日に内覧会が行われ

住民、神戸市長ら60人が参加し、地域の交流拠点となる歴史的建造物の復活を喜んだ。

(2017年5月18日神戸新聞NEXTより)



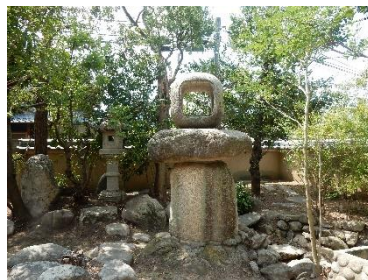
展示されている改修状況写真

淡河町の中心は、国道428号線と県道38号線(三木三田線)の交差点で、道路交通上は至便地といいながら公共交通は十分とはいえず、人口の流出が懸念されています。そこにこの施設が再興され、地域交流や定住の拠点とし期待されています。現在は、土・日営業のようで、喫茶もオープンしています。交差点脇には道の駅淡河もあり、地場の野菜、特産の花の販売、食堂では十割そばなどの食事ができますので、石峯寺も含め休日のちょっとしたお出かけにいかがでしょうか。

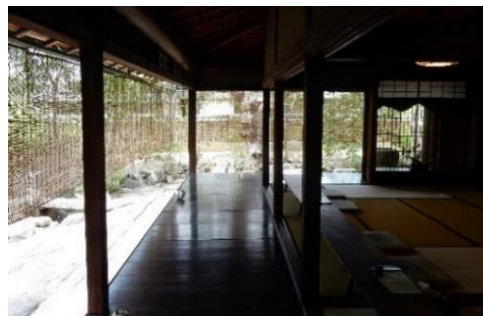
お土産はゴルフ帰りの定番、満月堂・豊助饅頭は甘さ控えめのこしあん、安くておいしいです。



玄関と前庭



座敷で庭を眺めてお茶ができます。



お知らせ

◎行事案内

1 平成29年9月(第459回)月例会

日時 平成29年9月7日(木)

12時から14時

会場 西村屋和味旬彩

テーマ 昨今の労働問題について

講師 村元 四郎 氏

(公財)ひょうご産業活性化センター

理事・総括コーディネーター

兵庫県労働委員会使用者側委員

2 平成29年10月(第460回)月例会

日時 平成29年10月12日(木)

12時00分から14時00分

会場 神戸三宮東急REIホテル

テーマ 『運動による身体的・精神的な健康管理』

講師 ^{いかるぎ} 鳩木 秀夫氏

兵庫県立大学経済学部

健康・スポーツ科学研究室 教授

講演概要 社会環境や食習慣の変化等から食源病、運動不足病、ストレス病と呼ばれる現代的な疾病対策としての運動の必要性について講演いただきます。

現在ご案内中です。ご参加よろしくお願ひします。

3 研修交流会(ゴルフコンペ)

日時 平成29年10月25日(水)

会場 城山ゴルフ倶楽部

集合時間 9時15分

スタート 9時45分～4組

間もなくご案内します。

3 平成29年11月(第461回)

見学研修会兼月例会

日時 平成29年11月16日(木)

9時15分～17時頃

見学コース

① 兵庫県立青少年創造劇場(ピッコロシアター): 尼崎市南塚口町

開設から30年を経ても使いやすい劇場のトップレベルにあるその真髓を視察します。特に普段は見ることのできない舞台裏の“奈落”等も特別に案内いただきます。



ピッコロ劇場

② 同館大鳥館長による講演
「ピッコロ劇場と撮影探訪色いろの話」(仮題)



大鳥館長作品

(掲示写真を撮ったため、中央の発光はストロボのものです)

③ 尼崎21世紀の森: 尼崎市扇町

・工場跡の森づくり視察

・スポーツ施設(プール等)のPFI事業の実施状況



三宮から借上げバス利用とします。ご案内は9月下旬予定。

◎ 訃報

故人 田中秀雄氏

(株)田中工務店 代表取締役会長

同代表取締役社長 田中正教氏ご尊父

逝去日 平成29年8月25日

◎ 事務局だより

残暑お見舞い申し上げます。今号は健康管理を特集で組みました。ボリュームがありますが保存、プリントのうえご一読ください。殊にお腹のことは身近な問題ですので、参考にしてお気を付けてください。

広報コーナーではピッコロ劇場を取り上げています。芸術の秋のご参考に。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

広報コーナー：ピッコロ劇団上演案内

兵庫県立ピッコロ劇団 舞台芸術部 上演

絶望から人々を救うのは、
愛か、信仰か――

昭和42年、九州地方の農村、
災厄事故で正氣を失った豊吉は
母と妻に献身的に支えられながら暮らしていたが
「六十八代船橋式部」を名乗る悪僧に襲われ、
喜礼団のあとを追った…
「和泉式部伝説」を村に傳く、
人間の業と生への追求、
そして終わらなき漂泊
激しい現実、
立ち向かう人々の夢と
「伝説」が響き合い、
私たちの生きるすゝめを強く照らす。

作： 牧元松代 (Matsukado Takayo)
脚： 藤原新平 (Fujiwara Shinpei)

2014年話題を呼んだ舞台が、兵庫・東京で待望の再演！

2017 9/24 (日) 14:00開演 **6,970円**
兵庫・相生 相生市文化会館
扶桑電通なぎさホール
一般2,500円 高校生以下1,500円
相生市文化会館友好会会員(一般)2,000円
相生公演 お問い合わせ 0791-23-7118
E-mail: nagisa-aiol@city.aiol.lg.jp
http://www.nagisa-aiol-hyogo.com/ (相生市文化会館)

2017 9/29 (金) ~ 10/4 (水) **6,970円**
兵庫・尼崎 ピッコロシアター大ホール
9/29(金)18:00開演 9/30(土)・10/1(日)・3(火)・4(水)14:00開演 一般3,500円 大学・専門学校生2,500円 高校生以下2,000円

2017 10/14 (土)・15 (日) **6,970円**
東京 世田谷パブリックシアター
10/14(土)・15(日)14:00開演
一般3,500円 大学・専門学校生2,500円 高校生以下2,000円
尼崎・東京公演 お問い合わせ 06-6426-1940
http://hyogo-arts.or.jp/piccolo [ピッコロシアター]
兵庫・兵庫県立兵庫芸術文化センター 兵庫・相生市文化会館 東京・世田谷パブリックシアター ●演出：藤原新平 監修：藤原新平
兵庫県立兵庫芸術文化センター 兵庫・相生市文化会館 東京・世田谷パブリックシアター ●演出：藤原新平 監修：藤原新平

文化庁
平成28年度文化庁
補助金 文化庁指定文化事業
兵庫県立兵庫芸術文化センター

広報コーナー：兵庫県住宅再建共済制度

火災保険・共済に加入されている皆様へ

熊本地震！他人事ではありません

- ★明日かもしれない大地震・・・マンション、耐震住宅が壊れることも地震や津波の被災では、地震保険・共済でないと保険金等はない
- ★地震保険・共済は、火災保険金額の50～30%しか加入できないだから足りない ⇒ フェニックス共済と併せて加入を
- ★フェニックス共済600万円と、例えば地震保険1000万円の合計掛金は、
月当たり、戸建て1,695円、マンション1,095円
ア420円+地1,275円 ア420円+地675円 ※ア：フェニックス共済 地：地震保険
- ★共済は、助け合いの制度、自分に被害がなくても、被災者の支援に

自然災害からの住宅再建・**フェニックス共済**
唯一 兵庫県 が実施する安心の共済制度です

地震！豪雨！こんなに

- ★南海トラフ地震の発生確率30年以内に7割
県の試算、県内各地で全半壊21.5万棟
山崎断層、上町断層など危険な断層多数
- ★平成16年以降、県内の水害・土砂災害2万棟

あなたの家は大丈夫？

- ★阪神・淡路に耐えた家、実は危ない？
- ★新耐震基準は倒壊しないことが目標
新築や基準クリアでも壊れることも
- ★巨大化する台風・増えるゲリラ豪雨

ほんとになんとかかりますか？

- ★自分はたぶん大丈夫 → 地震も洪水も、ほとんどの被災者はそう思っていました
- ★ローンがあって家が壊れたら → ローンのある方、建替にローンが必要な方は備えを
- ★生きてさえいればなんとかなる → 備えの有無で、その後の生活に大きな差が
- ★国がなんとかしてくれる → 南海トラフ地震は被害広範囲、復興に時間がかかるかも
- ★マンションの再建は難しい → 再建が難しいときは、別のマンションを買う選択肢も
- ★高齢だし古家だし壊れたら仕方ない → 高齢ほど近所づきあいが大切、現地再建が重要
- ★家が壊れたら自分も助からない → 阪神・淡路の時、全壊建物の約99%の人が助かりました

大地震も 備えれば、被害はもっと小さく

【事前にぜひ】

- ①家具、家電の固定
- ②避難場所、連絡先の確認
- ③避難時必要品を身の回りに
- ④1週間分の食料備蓄
- ⑤**フェニックス共済**に加入
- ⑥耐震診断、住宅補強

【これもあわせて】

- ①風呂水のくみ置き
- ②ガラスの飛散防止
- ③防災知識の向上